

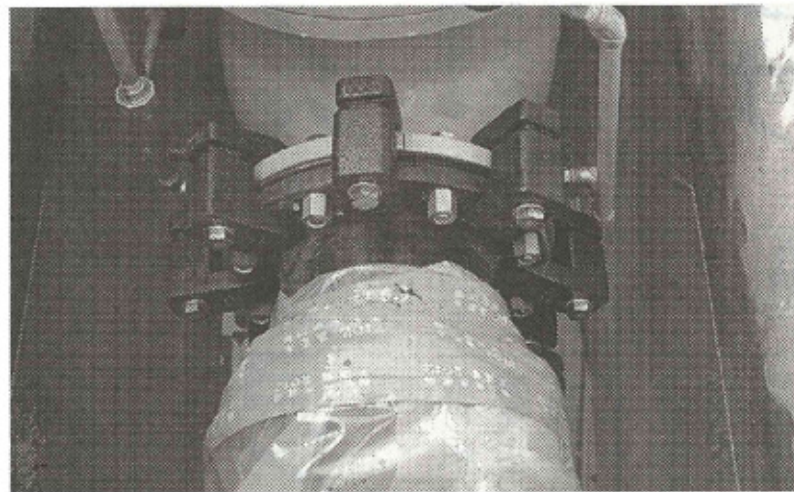
# フランジサポートを初施工

岡山市  
水道局 大成機工と共同で開発

岡山市水道局は4月17日、大成機工との共同開発品である「フランジサポート」を既設減圧弁のフランジ接合部に初施工した。管路全体の耐震性強化の一環で、2カ所約1時間の施工時間で滞りなく完工した。

た中、既設フランジ部の補強が課題の一つとなっている。そこで、水道管路関連資機材で数多くの実績と高い技術力を有する大成機工と共同で離脱阻止性能A級(3DkN)を備え、かつコンパクトで高い施工性を有した製品を目標に開発に取り組んできたが、このほど当初の開発目標をクリア

し、しかも専用工具が不要という製品の開発に至った。初施工となった現場は、岡山市東区上道北方地内水道局レークタウン第一加圧ポンプ場前の歩道。減圧弁(φ200)のフランジ接合部にフランジサポートを取り付けるとともに、併せて既設のフランジボルトを交換



初施工された「フランジサポート」

することでフランジ全体の耐震性強化を図るもの。減圧弁ピット内の限

施工現場に立ち会った矢野光信・東水道センタ―主査は「1カ所ずつ

られた作業スペースで、工具さえも操作しにくい作業環境であったが、短時間で3DkN仕様のフランジサポートを予定通り設置し、優れた施工性を確認した。

ランジサポートを取り付けながらボルトを交換する作業を、漏水事故が起る不安を感じることもなく完了できた。また、フランジサポートを設置することでフランジ部の安定感を増すことができた。維持管理に携わる職員にとって、現場での安心感を得られたことは非常に大きい」と感想を語っている。

同局では、今後さまざま現場状況でフランジサポートを積極的に使用し、管路の耐震性強化を図っていく方針。